

次世代に引き継ぎたい

歯科医療を考える！

栗原 英見 先生

広島大学大学院 医歯薬保健学研究所
歯周病態学研究室 教授
日本歯周病学会 理事長

日時：平成30年 9月18日(火)
17:30～19:30

場所：大講義室(歯学部棟4階西側)

超高齢社会を迎え、医科歯科連携は必須のものとなりました。言葉を換えれば、歯科医療は他の医療者の目に晒される時代に入ったといえます。医科と歯科では医療を提供するという意味で同じ括りで議論されることが多いですが、歯科は医療を高度化させる基盤において様々な問題を抱えています。超高齢社会において、歯科医療が正当な評価を受けながら健康寿命の延伸に関わっていくためには、様々な改革が必要と考えます。とりわけ、歯科医療に評価系の強化が必要であると考えています。次世代にどのような歯科医療を引き継いで行くべきなのかを皆様と議論したいと思います。

主催：歯周歯内治療学分野（連絡先：内線 9128）
徳島大学病院キャリア形成支援センター

※本事業は、医師、歯科医師、看護師、その他の医療技術職及び事務職の職種間連携並びに専門性の向上を目的としています。
※本講演は、大学院口腔科学教育部の講義を兼ねております。